



安方中だより

令和5年2月20日 第9号

大田区立安方中学校

「その声は」

校長 佐藤 彰

令和5年がスタートして早くも2ヵ月近くが経とうとしています。寒い日が続きますが、夜明けが早くなってだいぶ日も長くなったのを感じます。春はもうすぐそこまで来ています。本校では、令和4年度の仕上げに向けて、進化と成長を止めずにまい進していきたいと思えます。

ウクライナ戦争や連続強盗、特殊詐欺などの息苦しくなるニュースが多い今般、心が温かくなる文に出会ったので紹介します。もともとは、日本看護協会が主催した「忘れられない看護エピソード」で最優秀賞を受賞したお話だそうです。テレビでも取り上げられたので、知っている人もいるかもしれませんが、内容を要約してお伝えします。



ある年の冬、佐賀県で暮らす看護師のSさんは、いつものように電車に乗っていました。すると、近くに座っていた夫婦が声を潜めて言い争いをしていました。

「病院まで遠いよ。最期の会話になるかもしれない。」「そんなことない、間に合う。」Sさんは、聞いてはいけないと思いましたが、ただならぬ夫婦の会話が聞こえてきます。夫婦は、携帯電話を手に握りしめて会話を続けていました。

「電話した方がいいよ。」「いや、まわりの人の迷惑になる。駅についてからでいい。」他の乗客も気になるのか、2人に視線を向けています。

「意識は無くても最後まで耳は聞こえてるって言うよ、電話かけなよ。お義父さん、待っているよ。」「いや、電車内だからかけられないよ。」

お互いに感情が高ぶり、少しずつ声が大きくなります。携帯電話の向こう側には、息を引き取ろうとしている父親がいて、臨終の場に間に合わないかもしれないということは、その場にいた誰もが理解できました。

Sさんは、末期がん患者を診る緩和ケア病棟に勤めていて、何人も患者を看取り、臨終に間に合わなかった家族の姿も見てきました。後悔だけはしてほしくないと思い、ためらいながらも夫婦に「電話してください」と言おうと立ち上がった時、「電話、かけた方がいいですよ」と、2人の正面に座っていた女性が声をかけました。近くにいた乗客も見守りながらうなずいています。みんな、こんな一大事にまわりの迷惑を気にする、真面目なご主人の助けになりたいと思っていたのです。

まわりから背中を押されるように、男性が電話をかけました。

「おふくろ、親父の耳元に携帯電話を置いてくれ。」

「親父、親父が一生懸命働いてくれたから、俺たちは腹いっぱい飯が食えて、少しもひもじい思いをしなかったよ。心配しなくていいから。本当に、本当にありがとう。」

静まり返る車内で嗚咽を懸命にこらえる男性。苦情を言う人などいるわけがありません。夫婦は、何度も乗客に頭を下げながら、目的の駅で降りて行きました。

電車内に冷たい空気が入り込んできましたが、みんな言葉にはできない温かさが、胸の奥から湧いてくるのを感じていました。

Sさんはこう言っています。「あの時、あの場にいた誰もが、まさに看護をしていた。そして、その声は必ず届いていると信じていた。」

「社会科見学を終えて」

副校長 五十嵐 潔美

2月3日（金）に1年生社会科見学、2月10日（金）に2年生社会科見学を無事に行うことができました。事前学習で下調べをしっかりと行ったこと、班で行程を確認したこと、そして当日の活動に真剣に臨んだことが成功の鍵だったと思います。両日とも大変寒い一日でしたが、どの班も最後まで活動することができました。皆さん、よく頑張りました。今後の学校生活でも、自主性、計画性、責任感など、社会科見学で得た様々な「力」を発揮し、次年度に繋げていってください。

そして、保護者の皆様、朝の送り出し、会計報告の点検など、御理解、御協力くださりありがとうございました。社会科見学詳細は、安方中学校ホームページ (<https://www.ota-school.ed.jp/yasukata-js/>) に掲載しておりますので、是非ご覧ください。



1年 上野



1年 浅草寺



2年 高德院



2年 鶴岡八幡宮

「表彰」おめでとう！

【剣道部】 ◎令和4年度大田区中学校剣道新人大会

- 2年女子個人 「準優勝」 高橋 知華さん
- 2年男子個人 「準優勝」 笠間 海斗さん
- 2年男子個人 「第3位」 麻生 大瑛さん
- 2年女子個人 「敢闘賞」 内山 優依さん
- 1年男子個人 「敢闘賞」 成田 優作さん



【令和4年度大田区中学校新聞コンクール】

- 「優秀賞」 高津 あかりさん 『修学旅行事前学習
東福寺』
- 「入選」 川口 紅葉さん 『矢口小学校の
用務員さん新聞』
- 「入選」 吉永 陽莉さん 『長野県で有名な食べ物』

